

長年の功績が称えられる

●佐藤秀信さん防犯栄誉金章を受章



▲津谷市長へ防犯栄誉金章受章を報告する
佐藤秀信さん

北秋田市防犯協会鷹巣地区坊沢支部副支部長の佐藤秀信さん（78歳・坊沢）が、全国防犯功労者の防犯栄誉金章を受章し、10月3日に市役所を訪れ、津谷市長へ受章を報告しました。

佐藤さんは、昭和37年に旧鷹巣町防犯組合に入会以来、52年の長きにわたる駐車場でのロックパトロールや通学路の見守り、高齢者を対象にした悪徳商法被害防止などの地域防犯活動に尽力されました。この間、坊沢支部の役員や副支部長などを歴任し、会員の指導にも努められてきました。

佐藤さんは「このような章をいただき非常にうれしい。これからも、これまでと同じように活動を続けていきたい」と話していました。

節目を学校と地域でお祝い

●鷹巣南小学校創立140周年記念式典



▲これまでの歴史を振り返りながら、さらなる発展を誓った記念式典

鷹巣南小学校（庄司邦昭校長・児童数73人）創立140周年記念式典が、10月12日に同校で行われ、歴代の校長や地域の方々が出席し、節目の年を祝いました。

同校は、明治7年に七日市学校として創立。改称や統合が行われた後、昭和45年に中央小学校の一部と葛黒小学校の一部が編入して鷹巣南小学校となり、平成21年には竜森小学校と統合して現在に至っています。

式典で庄司校長は「歴代の先生や地域の方々の教育への理想と情熱を、今後もしっかり引き継ぎ、児童とともに新たな一歩を踏み出す」とあいさつ。最後に、会場全員で校歌を声高らかに斉唱し、さらなる発展を誓いました。

犯罪のおこらない地域に

●安心安全まちづくりフォーラム in きたあきた



▲市内外から関係者約100人が参加して防犯について考えたフォーラム

「安全・安心まちづくりフォーラム in きたあきた」北秋田市民防犯大会・地域安全ネットワーク推進交流会が、10月11日に交流センターで開かれ、講話や講演を通して犯罪のないまちづくりについて理解を深めました。

フォーラムは、関係機関が連携を深め県民の防犯意識を一層高めようと、県、市防犯協会などが開催したもので、市内外から約100人が参加しました。

フォーラムでは、立正大学文学部社会学科の小宮信夫教授が「子どもと地域を犯罪から守るためには何が必要か」と題して講演したほか、秋田県警察本部生活安全企画課の高杉係長が、特殊詐欺や住宅侵入窃盗被害について講話し、犯罪防止を呼びかけました。

動物との共生を考える

●あに動物愛護シンポジウム



▲動物との共生を語り合ったパネルディスカッション

秋田県主催の「あに動物愛護シンポジウム」が、9月23日に阿仁ふるさと文化センターで開催されました。

シンポジウムは、阿仁熊牧場くまぐま園のリニューアルオープンを機に、動物愛護の取り組みや地域の活性化を深めるために開かれたものです。

はじめに女優で「あきた美の国大使」の加藤夏希さんと司会者の大島貴志子さんが「人にやさしく、動物にもやさしい秋田」と題して対談しました。

つづいてパネルディスカッションが行われ、大森山動物園の小松守園長をコーディネーターに、4人のパネリストが「動物と共に生きる」一人ひとりができること」をテーマにそれぞれの立場で意見を交わしました。

噛むことの大切さを学ぶ

●食育講演会



▲噛むことと健康の関わりなどを学んだ講演会

食育講演会が、10月3日に鷹巣保健センターで行われ、参加者が噛んで食事をすることの大切さを学びました。

学校法人大館ホテヤ学園・大館調理専門学校の布袋屋幸穂校長が「噛むことの大切さ」をテーマに講演。噛むことの大切さを知り、そして、次の世代まで伝える」と題して講演。布袋屋校長は、噛むことの8大効用として「肥満を防ぐ、味覚の発達、言葉の発音が良くなる、脳が発達、歯の病気を防ぐ、がんを防ぐ、胃腸の働きを促進する、全身の体力向上」を挙げて、健康へのつながりを説明しました。

また、5歳児健診でむし歯のなかった子ども「5ゼロGO!歯つばきキッズ」の表彰式も併せて行われました。

ヒグマへのエサやり体験を楽しむ

●くまぐま園見学市民号



▲小窓から栗や山菜の「みず」を与え、ヒグマが食べる様子を観察

秋田内陸線に乗り込んで阿仁熊牧場くまぐま園を見学する「くまぐま園見学市民号」が、9月21日に運行され、家族連れなど31人が参加し、クマへのエサやり体験などを楽しみました。

阿仁マタギ駅に到着した参加者は、近くの栗栽培農家の協力で、クマのエサとするための栗をたつぷりと拾った後、くまぐま園へ向かいました。

くまぐま園では、飼育員からクマの生態などについて説明を受けた後、ふだんは与えることができない栗や山菜の「みず」をツキノワグマとヒグマに与えました。ヒグマ舎では、近づいてくるヒグマの迫力ある動きや大きさに驚きながら、食べる様子を観察していました。